

平成29年度 保健

教科(科目)	体育(保健)	学科(コース)・学年	全学科・2学年
使用教科書	現代保健体育 (大修館書店)		
副教材等	現代保健ノート (大修館書店)		
履修単位(時間)	1単位(35時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

<p>生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれらに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や期間を適切に活用することの重要性を理解できるようにする。</p> <p>社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。</p>
--

2. 指導の重点

<p>○生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があること、保健医療の制度及び地域の保健・医療機関を適切に活用することを中心に学ぶ。</p> <p>○健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康との関係などについて学ぶ。</p>
--

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1 学期	2 単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的とりくみ	<p>○思春期における心身の発達や健康問題について、説明できるようにする。</p> <p>○性意識の男女差を、性的欲求のあらわれ方の違いを例に説明できるようにする。</p> <p>○健康な結婚生活をいとなむための留意点を、心身の発達の観点から説明できるようにする。</p> <p>○受精、妊娠、出産の過程が説明できるようにする。</p> <p>○健康上からみた家族計画や人工妊娠中絶について説明できるようにする。</p> <p>○加齢にともなう心身の変化について、形態、機能の両面から説明できるようにする。</p> <p>○高齢化社会の健康課題と到来に対して保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況観察 ・学習ノート記入 ・学習プリント ・定期テスト
2 学期	8 保健制度と保健サービスの活用 9 医療制度と医療費 10 医療機関と医療サービスの活用	<p>○保健行政の役割、保健サービスの内容を説明できるようにする。</p> <p>○我が国における医療保険のしくみを説明できるようにする。</p> <p>○医療機関の選び方について具体的に説明できるようにする。</p>	

2 学期	3 単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁と健康 3 土壌汚染と健康 4 健康被害の防止と環境対策 5 環境衛生活動のしくみと働き	○大気汚染の健康への影響と原因物質を説明できるようになる。 ○水質汚濁の健康への影響と原因物質を説明できるようになる。 ○土壌汚染の健康への影響と原因物質を説明できるようになる。 ○環境汚染の防止・改善への対策をあげて説明できるようになる。 ○ごみ処理、上下水道の整備について説明できるようになる。	・学習状況観察 ・学習ノート記入 ・学習プリント ・定期テスト
3 学期	6 食品衛生活動のしくみと働き 7 食品と環境の保健と私たち 8 働くことと健康 9 労働災害・職業病と健康 10 健康的な職業生活	○食品衛生管理について、行政・生産者の対策を説明できるようになる。 ○食品の安全性確保と環境汚染予防の例を説明できるようになる。 ○働くことと健康の相互作用を説明できるようになる。 ○労働災害の防止策と職場での健康管理について説明できるようになる。あることを学ぶ。 ○職場及び日常生活での健康増進について説明できるようになる。	・学習状況観察 ・学習ノート記入 ・学習プリント ・定期テスト

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
○生涯の各段階における健康課題について興味・関心を高め主体的に学習に取り組み自己の健康管理ができる。	○生涯の各段階における健康課題や様々な環境と健康の関わりを考察し健康に生活するために判断することができる。	○様々な健康課題を解決するための基本的な知識を身につけ、生涯を通じて健康に生活していく大切さを理解することができる。

具体的な評価の対象

- ・年3回の学期末考査（70%）
- ・小テスト、学習ノート、授業中での課題プリント、課題レポート（10%）
- ・学習活動（態度、意欲）及び出席状況（20%）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

授業で学んだ、現代の健康問題をインターネット、テレビ、新聞などで自ら知識を得るようにしてください。